

## シラバス

科目名	ミュージックセオリー I		担当者名	木下 龍平	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えているかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。				
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説	
	2	オリエンテーション2	20	メジャーペンタトニックスケールとマイナーペンタトニックスケール	
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルースペンタトニックスケール	
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード	
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方	
	6	調と調性	24	チャーチモード①	
	7	音程と度数	25	チャーチモード②	
	8	小テスト	26	ドミナントスケール	
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト	
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①	
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②	
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方	
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト	
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト	
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括	
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリドミナント	34	確認テスト・まとめ1	
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。				

## シラバス

科目名	アンサンブルセオリー I A		担当者名	吉池 千秋、山田 泰士	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。また、アンサンブルの中で自分のパートが果たすべき役割を考えながら演奏する感覚を養う。				
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	音作り研究	
	2	オリエンテーション2	20	バラード8ビート:①初見演奏・楽曲解説	
	3	オリエンテーション3	21	バラード8ビート:②指導	
	4	譜面のルール:進行やリピート記号について	22	バラード8ビート:③発表・講評	
	5	音符の種類と拍子	23	ソウル・ファンク1:①初見演奏・楽曲解説	
	6	シンコペーション	24	ソウル・ファンク1:②指導	
	7	ポップス8ビート:①初見演奏・楽曲解説	25	ソウル・ファンク1:③発表・講評	
	8	ポップス8ビート:②指導	26	ポリリズム、変拍子	
	9	ポップス8ビート:③発表・講評	27	ジャズ・フュージョン1:①楽曲解説	
	10	ロック1:①初見演奏・楽曲解説	28	ジャズ・フュージョン1:②指導	
	11	ロック1:②指導	29	ジャズ・フュージョン1:③発表・講評	
	12	ロック1:③発表・講評	30	バラード16ビート1:①初見演奏・楽曲解説	
	13	シャッフルビート	31	バラード16ビート1:②指導	
	14	即興演奏1	32	バラード16ビート1:③発表・講評	
	15	ブルース:①初見演奏・楽曲解説	33	後期期末実技試験～総括	
	16	ブルース:②指導	34	確認テスト・まとめ1	
	17	ブルース:③発表・講評	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期期末実技試験	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。等				

## シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	松下 幹雄、鈴木 健太	
学 科	ミュージック科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	各々の目標を明確にし、実現のための「考える力」を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グループワークを通じてコミュニケーション力を高め、視野を広げていく。				
授業概要	様々な音楽制作の場を想定したシミュレーション。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	各々自己紹介をし、互いを知り、理解できる下地を作る。 自身のやりたいこと、	19	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	2	「お互いの学びのためにどのように協力しあえるか」を相談し、グループを作成。	20	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	3	グループまたは個々で自分たちの作品を「どんな場でどのように役立てていけるか」を想定し、企画作りを行う。	21	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	4	企画作成の具体化、各方面へのアプローチの仕方を調べ、できることを探っていく。	22	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	5	企画作成の具体化、各方面へのアプローチの仕方を調べ、できることを探っていく。	23	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	6	企画作成の具体化、各方面へのアプローチの仕方を調べ、できることを探っていく。	24	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	7	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	25	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	8	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	26	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	9	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	27	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	10	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	28	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	11	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	29	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	12	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	30	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	13	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	31	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	14	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	32	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	
	15	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	33	一年間の学習を通して得たもの、取り組めたこと、今後の目標を明確にする。①	
	16	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	34	一年間の学習を通して得たもの、取り組めたこと、今後の目標を明確にする。②	
	17	各方面へのアプローチ、反応、必要に応じての変更点などの調整。	35	一年間の学習を通して得たもの、取り組めたこと、今後の目標を明確にする。③	
	18	企画の調整、実行準備、準備ができたグループから実行	36	一年間の学習を通して得たもの、取り組めたこと、今後の目標を明確にする。④	
成績割合	テスト		学習FB方法	企画の立案や実行を通し、自分達の反省だけでなく、協力を仰いだ他学科や外部団体からフィードバックをもらい、今後に活かしていく。	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。 司会者としても長い経歴を持ち、1000組近い披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。				

## シラバス

科目名	クリエイティブワーク I		担当者名	松下 幹雄、鈴木 健太	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	144時間
授業目的	音楽活動をする上で必要なプロデュース力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プロジェクトのスケジュールを適切に立て、実行する力を養う。				
授業概要	音楽プロジェクトのチームビルディング、楽曲制作、プロモーション撮影、ライブ企画のサイクルを通年で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	プロジェクトプラン立て チームビルディング①	19	ライブ演奏 プロジェクト振り返り	
	2	プロジェクトプラン立て チームビルディング②	20	楽曲制作①	
	3	プロジェクトプラン立て チームビルディング③	21	楽曲制作②	
	4	楽曲制作①	22	レコーディング①	
	5	楽曲制作②	23	レコーディング②	
	6	楽曲制作③	24	レコーディング③	
	7	楽曲制作④	25	MV収録①	
	8	レコーディング①	26	MV収録②	
	9	レコーディング②	27	MV収録③	
	10	レコーディング③	28	ライブリハーサル	
	11	レコーディング④	29	ライブ演奏 プロジェクト振り返り	
	12	レコーディング⑤	30	楽曲制作①	
	13	MV収録①	31	楽曲制作②	
	14	MV収録②	32	レコーディング①	
	15	MV収録③	33	レコーディング②	
	16	MV収録④	34	MV収録	
	17	ライブリハーサル①	35	ライブリハーサル	
	18	ライブリハーサル②	36	ライブ発表 プロジェクト振り返り	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	無し	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>60% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	今村陽子 東京工学院専門学校音楽芸術科卒業後カワイ音楽教室講師、東京工学院テクノスカレッジ講師				

## シラバス

科目名	DTMベーシック I		担当者名	山田 泰士		
学科	ミュージック科		授業方法	実習		
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	DTMの基本操作とテクニックを学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	DTMの使い方や音楽理論を習得し、同時に音楽的感性も向上する。					
授業概要	DTMを使った楽曲、効果音の制作とそれに伴う音楽理論や楽器知識、レコーディング知識の学習と実践。					
授業 計画 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	楽器知識		
	2	オリエンテーション	20	自主楽曲制作①		
	3	オリエンテーション	21	自主楽曲制作②		
	4	Studio Oneのインストールと基本的な使い方	22	自主楽曲制作③		
	5	ベーシックな打ち込み(ドラム)	23	自主楽曲制作④		
	6	ベーシックな打ち込み(ベース)	24	ミックス作業とプラグイン		
	7	ベーシックな打ち込み(ギター)	25	レコーディング機材と実習		
	8	ベーシックな打ち込み(ピアノ)	26	効果音の作成①		
	9	ベーシックな打ち込み(メロディ)	27	効果音の作成②		
	10	さまざまな楽器の打ち込み	28	I.完全自主制作①		
	11	打ち込みでの楽曲カバー①	29	I.完全自主制作②		
	12	打ち込みでの楽曲カバー②	30	II.完全自主制作①		
	13	音楽理論・楽典①	31	II.完全自主制作②		
	14	音楽理論・楽典②	32	楽曲発表とプレゼン①		
	15	音楽理論・楽典③	33	楽曲発表とプレゼン②		
	16	音楽理論・楽典④	34	まとめ1		
	17	音楽理論・楽典⑤	35	まとめ2		
18	Cubaseの使い方と特徴	36	まとめ3			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	14歳からギターを始め、その後専門学校に入学し ジャズ、ブルース、ラテン、ロックなど幅広い音楽の知識や技術、音楽理論などを学びつつ、様々な場所で演奏やアシスタントの経験しながら同学校を卒業。 現在は、レコーディング、ライブサポート、セッション、ギターレッスンと共に、作曲家、アレンジャーとして楽曲提供など、メジャー、インディーズ問わず活動をしている。					

## シラバス

科目名	リーディング I		担当者名	松下 幹雄	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な読譜能力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に譜面表記の能力と読譜能力を習得することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	楽器演奏・音楽制作に必要な譜面表記と読譜を音で確認しながら実習する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	リズムパターン実習①	19	既製楽曲メロディーコピー記譜実習④	
	2	リズムパターン実習②	20	既製楽曲メロディーコピー記譜実習⑤	
	3	リズムパターン実習③	21	既製楽曲メロディーコピー記譜実習⑥	
	4	リズムパターン実習④ メロディー読譜実習①	22	既製楽曲のスコアリーディング①	
	5	リズムパターン実習⑤ メロディー読譜実習②	23	既製楽曲スコアリーディング②	
	6	リズムパターン実習⑥ メロディー読譜実習③	24	既製楽曲スコアリーディング③	
	7	リズムパターン実習⑦ メロディー読譜実習④	25	既製楽曲スコアリーディング④	
	8	リズムパターン実習⑧ メロディー読譜実習⑤	26	既製楽曲バンドスコア記譜実習①	
	9	リズムパターン実習⑨ メロディー読譜実習⑥	27	既製楽曲バンドスコア記譜実習②	
	10	リズムパターン実習⑩ メロディー読譜実習⑦	28	既製楽曲バンドスコア記譜実習③	
	11	リズムパターン記譜実習① メロディー読譜実習⑧	29	既製楽曲バンドスコア記譜実習④	
	12	リズムパターン記譜実習② メロディー読譜実習⑨	30	既製楽曲バンドスコア記譜実習⑤	
	13	リズムパターン記譜実習③ メロディー読譜実習⑩	31		
	14	リズムパターン記譜実習④ メロディー記譜実習①	32		
	15	リズムパターン記譜実習⑤ メロディー記譜実習②	33		
	16	既製楽曲のメロディーコピー記譜実習①	34		
	17	既製楽曲のメロディーコピー記譜実習②	35		
18	既製楽曲メロディーコピー記譜実習③	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	国立音楽大学作曲科在学中にベース奏者としてプロデビュー。 音楽講師としても音楽理論・アレンジ・ヴォイストレーナーとして活躍。				

## シラバス

科目名	コーラスワーク I		担当者名	島田 道生	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	1単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	コーラスアンサンブルに於けるハーモニーの特徴を知り、それを実演するための方法を研究する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	コーラスアンサンブルを実習し、ハーモニーに対する聴力を養い、実演するための技術を養う。				
授業概要	コーラスアンサンブルに於ける呼吸法、発声法、発音法、和声感、表現方法をエクササイズ及び教材を利用しながら実習する。				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	アカペラコーラスの実習③	
	2	コーラスアンサンブルの基礎①	20	コーラステクニック①	
	3	コーラスアンサンブルの基礎②	21	コーラステクニック②	
	4	コーラスアンサンブルの基礎③	22	コーラステクニック③	
	5	発声練習①	23	呼吸法①	
	6	発声練習②	24	呼吸法②	
	7	発声練習③	25	呼吸法③	
	8	アカペラコーラスの実習①	26	開口発声	
	9	アカペラコーラスの実習②	27	アカペラコーラスの実習	
	10	アカペラコーラスの実習③	28	コーラステクニック①	
	11	コーラステクニック①	29	開口発声	
	12	コーラステクニック②	30	発声練習	
	13	コーラステクニック③	31	コーラステクニック①	
	14	呼吸法①	32	コーラステクニック②	
	15	前期まとめ	33	コーラステクニック③	
	16	前期h復習 後期授業内容説明	34	コーラステクニック④	
	17	アカペラコーラスの実習①	35	コーラステクニック⑤	
18	アカペラコーラスの実習②	36	コーラステクニック⑥		
成績割合	テスト	実技テスト	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート	無し	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	島田道夫 マドリッド王位音楽院ディプロマコース修了。オペラ、オペレッタ、ミュージカル、音楽劇など幅広い分野で活躍。				

## シラバス

科目名	ソルフェージュ I		担当者名	今村 陽子	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	楽譜の読み書きに馴染んで音楽活動に生かす。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	楽譜の読み書きがスムーズに行えるようになる。				
授業概要	楽典の基礎を覚える。 譜面を初見で演奏(視唱)する。 聴き取ったメロディーを譜面に落とす。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音①	
	2	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方①	20	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音②	
	3	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方②	21	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音③	
	4	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方③	22	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音④	
	5	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方④	23	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音⑤	
	6	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方⑤	24	3連符の譜読みや書き方 調音①	
	7	楽典 八分音符 全体符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	25	3連符の譜読みや書き方 調音②	
	8	楽典 八分音符 全体符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	26	3連符の譜読みや書き方 調音③	
	9	楽典 八分音符 全体符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	27	3連符の譜読みや書き方 調音④	
	10	楽典 八分音符 全体符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	28	3連符の譜読みや書き方 調音⑤	
	11	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード①	29	さまざまな調の調音や書き方 移調①	
	12	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード②	30	さまざまな調の調音や書き方 移調②	
	13	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード③	31	さまざまな調の調音や書き方 移調③	
	14	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード④	32	さまざまな調の調音や書き方 移調④	
	15	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード⑤	33	さまざまな調の調音や書き方 移調⑤	
	16	まとめ①	34	さまざまな調の調音や書き方 移調⑥	
	17	まとめ②	35	試験	
18	試験	36	まとめ		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	%	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校音楽芸術科卒業後カワイ音楽教室講師、東京工学院テクノスカレッジ講師				

## シラバス

科目名	ボーカルゼミ I (A)		担当者名	藤原 美穂子	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	一人一人に合った発声法を身につけ、表現の幅を広げて行く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自身の声の長所を伸ばすことで自信をつけ視野を広げ、他者の長所をも発見し影響し合って、建設的に良い作品づくりに生かす。				
授業概要	1.基礎を身に付けるためのトレーニング(ストレッチ、必要に応じて筋肉や体幹へアプローチするトレーニング、プレストレーニング、発声練習等) 2.1を実際の歌唱に活かすための歌唱練習				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	姿勢、プレストレーニング、発声、歌唱等	19	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	
	2	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	20	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	
	3	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	21	響き、表現、歌唱など	
	4	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	22	響き、表現、歌唱など	
	5	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	23	響き、表現、歌唱など	
	6	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	24	響き、表現、歌唱など	
	7	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	25	人前で良いパフォーマンスをするための「適度な集中と適度なリラックス」のバランスをとるトレーニング	
	8	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	26	トレーニング、歌唱等	
	9	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	27	トレーニング、歌唱等	
	10	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	28	トレーニング、歌唱等	
	11	人前で良いパフォーマンスをするための「適度な集中と適度なリラックス」のバランスをとるトレーニング	29	おさらい、実技。	
	12	滑舌、ロングトーン、歌唱など	30	まとめ	
	13	滑舌、ロングトーン、歌唱など	31		
	14	滑舌、ロングトーン、歌唱など	32		
	15	おさらい、実技	33		
	16	前期授業おさらい(必要なトレーニング、歌唱など)	34		
	17	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	35		
18	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	36			
成績割合	テスト		学習FB方法	学生同士がお互いに歌唱を聴き合い、アドバイスし合う。	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	実技。授業内容をどれだけ理解し、自身で深められているかを評価。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。 司会者としても長い経歴を持ち、1000組近い披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。				

## シラバス

科目名	ボイストレーニング I (A)		担当者名	宗田 良一、池田 絢	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	一人一人に合った発声法を身につけ、表現の幅を広げて行く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自身の声の長所を伸ばすことで自信をつけ視野を広げ、他者の長所をも発見し影響し合って、建設的により良い作品づくりに生かす。				
授業概要	1.基礎を身に付けるためのトレーニング(ストレッチ、必要に応じて筋肉や体幹へアプローチするトレーニング、プレストレーニング、発声練習等) 2.1を実際の歌唱に活かすための歌唱練習				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	姿勢、プレストレーニング、発声、歌唱等	19	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	
	2	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	20	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	
	3	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	21	響き、表現、歌唱など	
	4	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	22	響き、表現、歌唱など	
	5	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	23	響き、表現、歌唱など	
	6	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	24	響き、表現、歌唱など	
	7	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	25	人前で良いパフォーマンスをするための「適度な集中と適度なリラックス」のバランスをとるトレーニング	
	8	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	26	トレーニング、歌唱等	
	9	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	27	トレーニング、歌唱等	
	10	姿勢、体幹へのアプローチ、プレストレーニング、発声、歌唱等	28	トレーニング、歌唱等	
	11	人前で良いパフォーマンスをするための「適度な集中と適度なリラックス」のバランスをとるトレーニング	29	おさらい、実技。	
	12	滑舌、ロングトーン、歌唱など	30	まとめ	
	13	滑舌、ロングトーン、歌唱など	31		
	14	滑舌、ロングトーン、歌唱など	32		
	15	おさらい、実技	33		
	16	前期授業おさらい(必要なトレーニング、歌唱など)	34		
	17	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	35		
18	体幹、発声、音感のトレーニング、歌唱など	36			
成績割合	テスト		学習FB方法	学生同士がお互いに歌唱を聴き合い、アドバイスし合う。	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	実技。授業内容をどれだけ理解し、自身で深められているかを評価。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。 司会者としても長い経歴を持ち、1000組近い披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。				

## シラバス

科目名	作品制作・アレンジ I		担当者名	木下 龍平	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	自分の中でイメージした音楽を具現化させる術と、その楽しさを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	音楽理論に基づく作曲法と、実際に楽曲を形にするDAWの基本的な操作を習得する。				
授業概要	音楽理論に基づく作曲法やDAWに関するテクニックの講義。併せてそれらを身につける為の課題を提示し、DAW上で制作させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	自由曲制作1:①制作・添削	
	2	オリエンテーション2	20	自由曲制作1:②制作・添削	
	3	オリエンテーション3	21	自由曲制作1:③制作・添削	
	4	機材説明	22	自由曲制作1:④発表・講評	
	5	シンセサイザー講座:①基礎知識	23	完コピ音源制作1:①楽曲&必要テクニック解説	
	6	シンセサイザー講座:②音色作り	24	完コピ音源制作1:②制作・添削	
	7	ミックス講座:①基礎知識	25	完コピ音源制作1:③制作・添削	
	8	ミックス講座:②エフェクト	26	完コピ音源制作2:①楽曲&必要テクニック解説	
	9	ミックス講座:③実践・添削	27	完コピ音源制作2:②制作・添削	
	10	課題曲制作:①楽曲解説～リズムトラック	28	完コピ音源制作2:③制作・添削	
	11	課題曲制作:②メロディ・ウワモノ	29	完コピ音源制作2:④発表・講評	
	12	課題曲制作:③ミックス	30	自由曲制作2:①制作・添削	
	13	課題曲制作:④発表・講評	31	自由曲制作2:②制作・添削	
	14	作曲講座1:①キーの設定～メロディ作り	32	自由曲制作2:③制作・添削	
	15	作曲講座1:②コード進行	33	自由曲制作2:④発表・講評	
	16	作曲講座1:③曲の構成	34	確認テスト・まとめ1	
	17	楽曲分析①	35	確認テスト・まとめ2	
18	楽曲分析②	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。				

シラバス

科目名	アナライズ I		担当者名	森重 恭典	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な楽曲分析力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に楽曲分析することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	楽器演奏・音楽制作に必要な音楽理論の講義を音で確認しながら、様々なジャンルの楽曲の研究を実施する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	譜面に使用される記号・表示の解説	19	ノンコードトーンの解説	
	2	既製楽曲の譜面を例に一般的な表示の解説①	20	メロディーの分析・研究①	
	3	既製楽曲の譜面を例に一般的な表示の解説②	21	メロディーの分析・研究②	
	4	楽器毎の一般的な譜面表記①	22	メロディーの分析・研究③	
	5	楽器毎の一般的な譜面表記②	23	メロディーの分析・研究④	
	6	楽器毎の一般的な譜面表記③	24	メロディーの分析・研究⑤	
	7	楽器毎の一般的な譜面表記④	25	サブコードの解説①	
	8	楽器毎の一般的な譜面表記⑤	26	サブコードの解説②	
	9	音階・調性の解説	27	サブコードの解説③	
	10	コードの解説	28	コード・スケールの解説①	
	11	コード進行の解説	29	コード・スケールの解説②	
	12	コード進行の分析・研究①	30	コード・スケールの解説③	
	13	コード進行の分析・研究②	31		
	14	コード進行の分析・研究③	32		
	15	コード進行の分析・研究④	33		
	16	コード進行の分析・研究⑤	34		
	17	コード進行の分析・研究⑥	35		
	18	コード進行の分析・研究⑦	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	アンサンブルセオリーⅡA		担当者名	吉池 千秋	
学科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。また、アンサンブルの中で自分のパートが果たすべき役割を考えながら演奏する感覚を養う。				
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	音作り研究	
	2	オリエンテーション2	20	バラード8ビート:①初見演奏・楽曲解説	
	3	オリエンテーション3	21	バラード8ビート:②指導	
	4	譜面のルール:進行やリピート記号について	22	バラード8ビート:③発表・講評	
	5	音符の種類と拍子	23	ソウル・ファンク1:①初見演奏・楽曲解説	
	6	シンコペーション	24	ソウル・ファンク1:②指導	
	7	ポップス8ビート:①初見演奏・楽曲解説	25	ソウル・ファンク1:③発表・講評	
	8	ポップス8ビート:②指導	26	ポリリズム、変拍子	
	9	ポップス8ビート:③発表・講評	27	ジャズ・フュージョン1:①楽曲解説	
	10	ロック1:①初見演奏・楽曲解説	28	ジャズ・フュージョン1:②指導	
	11	ロック1:②指導	29	ジャズ・フュージョン1:③発表・講評	
	12	ロック1:③発表・講評	30	バラード16ビート1:①初見演奏・楽曲解説	
	13	シャッフルビート	31	バラード16ビート1:②指導	
	14	即興演奏1	32	バラード16ビート1:③発表・講評	
	15	ブルース:①初見演奏・楽曲解説	33	後期期末実技試験～総括	
	16	ブルース:②指導	34	確認テスト・まとめ1	
	17	ブルース:③発表・講評	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期期末実技試験	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。SUPA LOVE所属作家。等				

## シラバス

科目名	ソングライティングⅡ		担当者名	山田 達也	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選	必選		
授業目的	作詞作曲に関する様々な方法やアプローチの仕方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	詩先、曲先など様々な作品作りのアプローチの仕方やそこに伴うテクニカルや感情の流れ等を考え、個々の作品作りに対して様々な目線を養っていく。				
授業概要	実際に歌詞からメロディーを考えてみたり、あるメロディに歌詞を作成してみる。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	前期まとめ	
	2	既存の楽曲にオリジナルの歌詞を付ける。	20	ポップス曲①	
	3	メロディーのアレンジ①	21	ポップス曲②	
	4	メロディーのアレンジ②	22	ポップス曲③	
	5	メロディーのアレンジ③	23	ロック①	
	6	テーマに沿って歌詞の作成①	24	ロック②	
	7	テーマに沿って歌詞の作成②	25	ロック③	
	8	テーマに沿って歌詞の作成③	26	バラード①	
	9	メロディの作り方①	27	バラード②	
	10	メロディの作り方②	28	バラード③	
	11	メロディの作り方③	29	楽曲制作①	
	12	メロディの作り方④	30	楽曲制作②	
	13	譜面の作成①	31	楽曲制作③	
	14	譜面の作成②	32	楽曲制作④	
	15	楽曲制作①	33	楽曲制作⑤	
	16	楽曲制作②	34	楽曲制作⑥	
	17	楽曲制作③	35	楽曲制作⑦	
	18	楽曲制作④	36	楽曲制作⑧	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート	無し	成績評価	出席率80以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	<p>日本大学芸術学部音楽学科作曲コース在学中より、プロミュージシャンとしての活動を開始する。</p> <p>ヴォーカル、コーラスのスタジオミュージシャンとして、多数のCMソング やアニメ主題歌等のレコーディングに参加。</p> <p>その間、コンサートツアーでも、「和田アキ子」「石川さゆり」「村下孝蔵」「麻美れい」等のサポートメンバーとしてツアーに参加。</p> <p>現在は自己のバンド「ANNYA BAND」にてCD3作品をリリースし、LIVE活動を展開中。(作詞、作曲、編曲、歌、ピアノ、ギターetc)</p>				

## シラバス

科目名	レコーディング実習Ⅱ		担当者名	梶 将太郎、山田 達也	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	3単位	開講期		授業時間数	108時間
開講学年	2学年	必・選	必選		
授業目的	オリジナル楽曲に歌やDTM及び生楽器を使用し高い水準で完成させ録音をする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	レコーディング手法の理解と楽曲を作品として完成させられるようにする。				
授業概要	マイキング・ミキシング・マスタリング等トータルのサウンドプロデュースを経験することで様々な音色を知り、形にする力を身に付ける				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	マイキング①	19	楽曲①レコーディング	
	2	マイキング②	20	楽曲②レコーディング	
	3	マイキング③	21	楽曲②レコーディング	
	4	マイキング④	22	楽曲②レコーディング	
	5	マイキング⑤	23	楽曲②レコーディング	
	6	ミキシング①	24	楽曲③レコーディング	
	7	ミキシング②	25	楽曲③レコーディング	
	8	ミキシング③	26	楽曲③レコーディング	
	9	ミキシング④	27	楽曲③レコーディング	
	10	ミキシング⑤	28	楽曲④レコーディング	
	11	マスタリング①	29	楽曲④レコーディング	
	12	マスタリング②	30	楽曲④レコーディング	
	13	マスタリング③	31		
	14	マスタリング④	32		
	15	マスタリング⑤	33		
	16	楽曲①レコーディング	34		
	17	楽曲①レコーディング	35		
18	楽曲①レコーディング	36			
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	出席率80%以上			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	池田 絢、藤原 美穂子	
学 科	ミュージック科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	音楽を軸として実社会へアプローチしていく術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	三つのプロジェクトに分かれ、定性・定量的目標を立て、その目標に対してグループで達成するための協働力、柔軟なコミュニケーション力、課題解決力を養う。				
授業概要	音楽プラットフォーム運営(ビジネス)、ミュージックスクール運営(教育)、健康促進(福祉)の三つから各々選択し、グループ内で適切な目標設定を作り、その目標をどのようにアプローチすれば達成できるかを考える。ゼミ形式で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ゼミ概要説明 チームビルディング	19	企画②	
	2	各チーム ゼミの目的に沿った目標設定	20	企画③	
	3	企画①	21	連携先見学	
	4	企画②	22	連携先打ち合わせ①	
	5	企画③	23	各チームミーティング	
	6	プレゼンテーション	24	連携先打ち合わせ②	
	7	連携先の見学	25	企画実施①	
	8	連携先打ち合わせ①	26	企画実施②	
	9	各チームミーティング①	27	企画実施③	
	10	各チームミーティング②	28	企画実施④	
	11	連携先打ち合わせ②	29	企画実施⑤	
	12	企画実施①	30	各チームミーティング	
	13	企画実施②	31	企画実施⑥	
	14	企画実施③	32	企画実施⑦	
	15	中間発表	33	企画実施⑧	
	16	前期振り返り	34	企画実施⑨	
	17	チームビルディング	35	企画実施⑩	
18	企画①	36	後期発表		
成績割合	テスト	無し	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 授業態度	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	藤名 美穂:ミュージカル・演劇への出演や、ジャズコーラスグループでの活動、子ども向けイベントの「唄のおねえさん」、他アーティストのコーラスサポート等、ライブやイベント、ディナーショー等への出演を多数経験。司会者としても長い経歴を持ち、延べ1000組にも及ぶ披露宴、イベント、企業のパーティーのMCを経験。[ボーカル]				

## シラバス

科目名	クリエイティブワークⅡ		担当者名	池田 絢、藤原 美穂子		
学 科	ミュージック科		授業方法	実習		
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	144時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	音楽活動をする上で必要なプロデュース力を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プロジェクトのスケジュールを適切に立て、実行する力を養う。					
授業概要	音楽プロジェクトのチームビルディング、楽曲制作、プロモーション撮影、ライブ企画のサイクルを通年で行う。					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	プロジェクトプラン立て チームビルディング①	19	ライブ演奏 プロジェクト振り返り		
	2	プロジェクトプラン立て チームビルディング②	20	楽曲制作①		
	3	プロジェクトプラン立て チームビルディング③	21	楽曲制作②		
	4	楽曲制作①	22	レコーディング①		
	5	楽曲制作②	23	レコーディング②		
	6	楽曲制作③	24	レコーディング③		
	7	楽曲制作④	25	MV収録①		
	8	レコーディング①	26	MV収録②		
	9	レコーディング②	27	MV収録③		
	10	レコーディング③	28	ライブリハーサル		
	11	レコーディング④	29	ライブ演奏 プロジェクト振り返り		
	12	レコーディング⑤	30	楽曲制作①		
	13	MV収録①	31	楽曲制作②		
	14	MV収録②	32	レコーディング①		
	15	MV収録③	33	レコーディング②		
	16	MV収録④	34	MV収録		
	17	ライブリハーサル①	35	ライブ発表 プロジェクト振り返り		
18	ライブリハーサル②	36	まとめ			
成績割合	テスト	実技テスト	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	出席率80%以上				
	レポート	無し	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール						

## シラバス

科目名	ミュージックセオリー I		担当者名	木下 龍平	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽理論を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	世界で広く学ばれているジャズとクラシックの理論を学び、それらが近年のヒット曲にどのような影響を与えているかを知ることによって、音楽を多角的に捉える能力を身につける。				
授業概要	クラシック・ジャズの理論の講義を、楽器等で音を確認しながら行う。併せて、実際に楽曲で使用されている例も解説する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	前期テスト解説	
	2	オリエンテーション2	20	メジャーペンタトニックスケールとマイナーペンタトニックスケール	
	3	オリエンテーション3	21	ブルースとブルースペンタトニックスケール	
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論について～音名と階名	22	テンションノートとテンションコード	
	5	音階と中心音～メジャースケール	23	アヴェイラブルノートスケールという考え方	
	6	調と調性	24	チャーチモード①	
	7	音程と度数	25	チャーチモード②	
	8	小テスト	26	ドミナントスケール	
	9	コード①:コードネームの法則～3和音	27	小テスト	
	10	コード②:4和音	28	楽曲分析①	
	11	コード③:分数コード～小テスト	29	楽曲分析②	
	12	メジャーキーのダイアトニックコード	30	ハモリの付け方	
	13	コードのファンクション～ドミナント7thコード	31	小テスト	
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー	32	後期期末テスト	
	15	マイナーキーのダイアトニックコード～サブドミナントマイナー	33	後期テスト解説～総括	
	16	ツーファイブとドミナントモーション～セカンダリドミナント	34	確認テスト・まとめ1	
	17	小テスト	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期期末テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーディングに参加する等、ベーシストとして活動した後、作詞・作曲・編曲家に転向。 SUPA LOVE所属作家。				

## シラバス

科目名	アンサンブルセオリーⅡB		担当者名	山田 達也	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	譜面を正しく理解し、演奏できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	記譜法(音符、休符、演奏記号等の譜面の読み方・書き方に関するルール)を習得する。				
授業概要	譜面を見ながら演奏させた後、演奏技術やバンドアンサンブルの考え方に関するアドバイスを実技形式で行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	実技試験	
	2	オリエンテーション②	20	音作り研究	
	3	オリエンテーション③	21	バラード8ビート①	
	4	譜面のルール	22	バラード8ビート②	
	5	音符の種類と拍子	23	バラード8ビート③	
	6	シンクロベーション	24	ファンク①	
	7	初見演奏 ポップス8ビート	25	ファンク②	
	8	初見演奏 ポップス8ビート②	26	ファンク③	
	9	初見演奏 ポップス8ビート③	27	ポリリズム 変拍子①	
	10	楽曲解説	28	ポリリズム 変拍子②	
	11	初見演奏 ロック①	29	ポリリズム 変拍子③	
	12	初見演奏 ロック②	30	ポリリズム 変拍子④	
	13	初見演奏 ロック③	31	ポリリズム 変拍子⑤	
	14	シャッフルビート	32	ジャズ・フュージョン①	
	15	シャッフルビート②	33	ジャズ・フュージョン②	
	16	ブルース①	34	ジャズ・フュージョン③	
	17	ブルース②	35	ジャズ・フュージョン④	
	18	ブルース③	36	実技試験	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	吉池千秋(よしいき ちあき) ベースist9月17日 東京生まれ高校卒業後19歳からプロ活動開始。 ■ ライブツアー&レコーディング参加アーティスト、 小田和正、甲斐よしひろ、チャゲ&飛鳥、鈴木雅之、徳永英明、ハイファイセット、稲垣潤一、森川由加里、織田裕二、時任 三郎、影山ヒロノブ、堀江美都子、浅田信一、古市コータロー、他... ■ サウンドトラック参加作品				

## シラバス

科目名	リーディングⅡ		担当者名	森重 恭典	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な読譜能力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に譜面表記の能力と読譜能力を習得することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	楽器演奏・音楽制作に必要な譜面表記と読譜を音で確認しながら実習する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	リズムパターン実習①	19	既製楽曲メロディーコピー記譜実習④	
	2	リズムパターン実習②	20	既製楽曲メロディーコピー記譜実習⑤	
	3	リズムパターン実習③	21	既製楽曲メロディーコピー記譜実習⑥	
	4	リズムパターン実習④ メロディー読譜実習①	22	既製楽曲のスコアリーディング①	
	5	リズムパターン実習⑤ メロディー読譜実習②	23	既製楽曲スコアリーディング②	
	6	リズムパターン実習⑥ メロディー読譜実習③	24	既製楽曲スコアリーディング③	
	7	リズムパターン実習⑦ メロディー読譜実習④	25	既製楽曲スコアリーディング④	
	8	リズムパターン実習⑧ メロディー読譜実習⑤	26	既製楽曲バンドスコア記譜実習①	
	9	リズムパターン実習⑨ メロディー読譜実習⑥	27	既製楽曲バンドスコア記譜実習②	
	10	リズムパターン実習⑩ メロディー読譜実習⑦	28	既製楽曲バンドスコア記譜実習③	
	11	リズムパターン記譜実習① メロディー読譜実習⑧	29	既製楽曲バンドスコア記譜実習④	
	12	リズムパターン記譜実習② メロディー読譜実習⑨	30	既製楽曲バンドスコア記譜実習⑤	
	13	リズムパターン記譜実習③ メロディー読譜実習⑩	31		
	14	リズムパターン記譜実習④ メロディー記譜実習①	32		
	15	リズムパターン記譜実習⑤ メロディー記譜実習②	33		
	16	既製楽曲のメロディーコピー記譜実習①	34		
	17	既製楽曲のメロディーコピー記譜実習②	35		
18	既製楽曲メロディーコピー記譜実習③	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	国立音楽大学作曲科在学中にベース奏者としてプロデビュー。 音楽講師としても音楽理論・アレンジ・ヴォイストレーナーとして活躍。				

## シラバス

科目名	コーラスワークⅡ		担当者名	島田 道生	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	コーラスアンサンブルに於けるハーモニーの特徴を知り、それを実演するための方法を研究する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	コーラスアンサンブルを実習し、ハーモニーに対する聴力を養い、実演するための技術を養う。				
授業概要	コーラスアンサンブルに於ける呼吸法、発声法、発音法、和声感、表現方法をエクササイズ及び教材を利用しながら実習する。				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	アカペラコーラスの実習③	
	2	コーラスアンサンブルの基礎①	20	コーラステクニック①	
	3	コーラスアンサンブルの基礎②	21	コーラステクニック②	
	4	コーラスアンサンブルの基礎③	22	コーラステクニック③	
	5	発声練習①	23	呼吸法①	
	6	発声練習②	24	呼吸法②	
	7	発声練習③	25	呼吸法③	
	8	アカペラコーラスの実習①	26	開口発声	
	9	アカペラコーラスの実習②	27	アカペラコーラスの実習	
	10	アカペラコーラスの実習③	28	コーラステクニック①	
	11	コーラステクニック①	29	開口発声	
	12	コーラステクニック②	30	発声練習	
	13	コーラステクニック③	31	コーラステクニック①	
	14	呼吸法①	32	コーラステクニック②	
	15	前期まとめ	33	コーラステクニック③	
	16	前期h復習 後期授業内容説明	34	コーラステクニック④	
	17	アカペラコーラスの実習①	35	コーラステクニック⑤	
18	アカペラコーラスの実習②	36	コーラステクニック⑥		
成績割合	テスト	実技テスト	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率				
	レポート	無し	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	島田道夫 マドリッド王位音楽院ディプロマコース修了。オペラ、オペレッタ、ミュージカル、音楽劇など幅広い分野で活躍。				

## シラバス

科目名	ソルフェージュⅡ		担当者名	今村 陽子	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	楽譜の読み書きに馴染んで音楽活動に生かす。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	楽譜の読み書きがスムーズに行えるようになる。				
授業概要	楽典の基礎を覚える。 譜面を初見で演奏(視唱)する。 聴き取ったメロディーを譜面に落とす。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音①	
	2	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方①	20	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音②	
	3	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方②	21	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音③	
	4	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方③	22	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音④	
	5	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方④	23	さまざまな拍子とその譜読みや書き方と調音⑤	
	6	楽典の基礎 全音符、二分音符、付点二分音符、四分音符の調音と譜読み 楽譜の書き方⑤	24	3連符の譜読みや書き方 調音①	
	7	楽典 八分音符 全休符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	25	3連符の譜読みや書き方 調音②	
	8	楽典 八分音符 全休符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	26	3連符の譜読みや書き方 調音③	
	9	楽典 八分音符 全休符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	27	3連符の譜読みや書き方 調音④	
	10	楽典 八分音符 全休符、二分休符、付点二分休符、四分休符、八分休符 タイ 音程 調音と譜読み	28	3連符の譜読みや書き方 調音⑤	
	11	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード①	29	さまざまな調の調音や書き方 移調①	
	12	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード②	30	さまざまな調の調音や書き方 移調②	
	13	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード③	31	さまざまな調の調音や書き方 移調③	
	14	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード④	32	さまざまな調の調音や書き方 移調④	
	15	16分音符と休符 調音と譜読み メロディとコード⑤	33	さまざまな調の調音や書き方 移調⑤	
	16	まとめ①	34	さまざまな調の調音や書き方 移調⑥	
	17	まとめ②	35	試験	
18	試験	36	まとめ		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	%	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校音楽芸術科卒業後カワイ音楽教室講師、東京工学院テクノスカレッジ講師				

## シラバス

科目名	ボーカルゼミⅡ(女子)		担当者名	藤原 美穂子	
学 科	ミュージック科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	様々な表現方法に触れ、幅広い表現を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ウォーミングアップと発声の基礎を身に付ける。				
授業概要	実技で進行していく。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	歌詞の理解②	
	2	正しい姿勢 腹式呼吸	20	歌詞の理解③	
	3	全身ストレッチ方法	21	ボイスポジション①	
	4	プレストレーニング	22	ボイスポジション②	
	5	腹式発声	23	ミックスボイス①	
	6	ジャンプトレーニング	24	ミックスボイス②	
	7	活舌 リズム	25	チェストボイス	
	8	個人歌唱指導①	26	ヘッドボイス	
	9	個人歌唱指導②	27	個人歌唱指導①	
	10	個人歌唱指導③	28	個人歌唱指導②	
	11	個人歌唱指導④	29	個人歌唱指導③	
	12	個人歌唱発表	30	個人歌唱指導④	
	13	ジャンプトレーニング	31	個人歌唱指導⑤	
	14	個人歌唱指導①	32	個人歌唱指導⑥	
	15	個人歌唱指導②	33	個人歌唱指導⑦	
	16	個人歌唱指導③	34	個人歌唱指導⑧	
	17	個人歌唱指導④	35	個人歌唱指導⑨	
	18	歌詞の理解①	36	個人歌唱指導⑩	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	アナライズⅡ		担当者名	森重 恭典	
学 科	ミュージック科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	音楽制作・作曲・編曲に必要な楽曲分析力を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	既に習得している音楽理論の知識を基に楽曲分析することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業概要	分析に必要な音楽理論の講義を音で確認しながら、様々なジャンルの楽曲分析を実施する。 習得している音楽理論の知識を基に楽曲分析することで、多種多様な音楽の理解力と創作力・アレンジ能力を身に付ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	既製楽曲のコード進行分析と研究①	19	コード進行の創作と分析①	
	2	既製楽曲のコード進行分析と研究②	20	コード進行の創作と分析②	
	3	既製楽曲のコード進行分析と研究③	21	コード進行の創作とコード・スケールの分析①	
	4	既製楽曲のメロディー分析と研究①	22	コード進行の創作とコード・スケールの分析②	
	5	既製楽曲のメロディー分析と研究②	23	コード進行とメロディーの創作・研究①	
	6	既製楽曲のコード進行とコード・スケールの分析と研究①	24	コード進行とメロディーの創作・研究②	
	7	既製楽曲のコード進行とコード・スケールの分析と研究②	25	コード進行とメロディーの創作・研究③	
	8	既製楽曲のメロディーとコード・スケールの分析と研究①	26	既製楽曲のメロディーヴォイシング解説①	
	9	既製楽曲のメロディーとコード・スケールの分析と研究②	27	既製楽曲のメロディーヴォイシング解説②	
	10	既製楽曲のメロディーとコード・スケールの分析と研究③	28	既製楽曲のメロディーヴォイシング実習①	
	11	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケール変換の実習①	29	既製楽曲のメロディーヴォイシング実習②	
	12	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケール変換の実習②	30	既製楽曲のメロディーヴォイシング実習③	
	13	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケール変換の実習③	31		
	14	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作①	32		
	15	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作②	33		
	16	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作③	34		
	17	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作④	35		
	18	既製楽曲のコード進行変換とコード・スケールを用いたメロディー創作⑤	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 佐藤・沼田	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	キャリアについて考える I	20	卒業visionを磨く	
	3	キャリアについて考える II	21	就活の軸を考える	
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え	
	5	自己探究 I	23	SDGsとこれからの働き方について考える	
	6	自己探究 II	24	就職活動について考える	
	7	グローバルとキャリアについて I	25	就活と生成AIツールの活用について I	
	8	グローバルとキャリアについて II	26	就活と生成AIツールの活用について II	
	9	インターンシップについて考える I	27	特別講座に向けて準備	
	10	インターンシップについて考える II	28	履歴書の書き方について	
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習	
	12	卒業Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう	
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう	
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習	
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習	
	16	グループディスカッション練習	34	卒業VISIONの確認	
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り	
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り	
成績割合	卒業ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 宮鍋・井上	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身に着ける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②	
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い	
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①	
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②	
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①	
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②	
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②	
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③	
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④	
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①	
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②	
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③	
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④	
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤	
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②	
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り	
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②	
18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③		
成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>“数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。          国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。          社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。”</p>				
授業概要	<p>“数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。          国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。          社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。”</p>				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2) 日本文学	
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1) 世界文学	
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2) 国語 成績判定試験(2)	
	4	数と量の文章問題(1) 慣用語の読み	22	場合の数(1) 民主主義	
	5	因数分解(1) 常用漢字外の読み	23	場合の数(2) 日本国憲法	
	6	因数分解(2) 漢字一字の書き取り	24	確率(1) 国際社会	
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2) 資本主義経済・企業	
	8	平方根の計算(1) 同訓異字の書き取り	26	数学 後期成績判定テスト(1) 国民経済・日本の経済	
	9	平方根の計算(2) 同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算 復習テスト貨幣・金融・財政	
	10	数学 前期成績判定テスト(1) 同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式 復習テスト(1) 社会 成績判定試験(1)	
	11	1次方程式、連立方程式国語 成績判定試験(1)	29	方程式と不等式 復習テスト(2) 日本史(1)	
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題 復習テスト(1) 日本史(2)	
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題 復習テスト(2) 世界史	
	14	数と量の文章問題(2) 書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ 復習テスト日本地理	
	15	割合の文章問題(1) 同字異音・同字異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1) 世界地理	
	16	割合の文章問題(2) 四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2) 思想・社会・文化	
	17	数学 前期成績判定テスト(2) 故事成語・諺・慣用句・金言の完成と意味	35	数学 後期成績判定テスト(2) 社会 成績判定試験(2)	
	18	速さの文章問題(1) 語句の読みと意味	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	“数学 前期・後期 成績表送付 国語・社会 前期・後期 成績表送付”	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S:90-100, A:80-89, B:70-79, C:60-69 ,D:0-59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	榎村 麻里子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全7科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書&メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とレポート&試験	19	情報分析力を鍛える①	
	2	オリエンテーション②レポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②	
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③	
	4	ビジネス文書&メールの書き方①	22	考える力をつける①	
	5	ビジネス文書&メールの書き方②	23	考える力をつける②	
	6	ビジネス文書&メールの書き方③	24	考える力をつける③	
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①	
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②	
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③	
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①	
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②	
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③	
	13	評論読解と要約のポイント①	31	レポート作成のポイント③	
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③	
	15	レポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②	
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振り返り	
	17	前期内容振り返り	35	年間内容振り返り	
18	後期レポート作成計画	36	まとめ		
成績割合	テスト		なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論、各論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	刑法(各論):第2課題	
	2	オリエンテーション	20	刑法(各論):第2課題	
	3	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法(債権総論):第1課題	
	4	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法(債権総論):第1課題	
	5	レポートの書き方①	23	民法(債権総論):第2課題	
	6	レポートの書き方②	24	民法(債権総論):第2課題	
	7	課題の題意把握	25	民法(債権各論):第1課題	
	8	課題の題意把握	26	民法(債権各論):第1課題	
	9	憲法:第1課題	27	民法(債権各論):第2課題	
	10	憲法:第1課題	28	民法(債権各論):第2課題	
	11	憲法:第2課題	29	憲法(残りの課題)	
	12	憲法:第2課題	30	刑法(残りの課題)	
	13	刑法(総論):第1課題	31	刑法(残りの課題)	
	14	刑法(総論):第1課題	32	民法(残りの課題)	
	15	刑法(総論):第2課題	33	民法(残りの課題)	
	16	刑法(総論):第2課題	34	結果報告	
	17	刑法(各論):第1課題	35	まとめ	
18	刑法(各論):第1課題	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。				

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子、原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	日大英文科で二次に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史(18世紀以降)の知識の習得と理解を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ(4単位) ・アメリカ文学史(4単位)				
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』(日本大学通信教育学部)、『アメリカ小説入門』(研究社)に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	スケジュール説明:レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要1(清教徒革命の影響)	19	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『緋文字』	
	2	・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要2(フランス革命の影響) ・トリコロール(自由・平等・博愛)	20	アメリカ文学史⑤～⑥までの小テスト	
	3	・イギリス文学史①(ロマン主義・詩)ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨ ポストモダンの時代 i ヘンリー・ミラー、サリンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど	
	4	・イギリス文学史②(ロマン主義・詩)バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩ ポストモダンの時代 ii カポーティ、テネシー・ウィリアムズ、ウォネガット、アップダイク、アーヴィングなど	
	5	イギリス文学史③(ロマン主義・小説)スコット、オースティン アメリカ文学史:歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪ マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチオンなど	
	6	アメリカ文学史① 植民地時代(ピューリタニズム) アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑩までの小テスト	
	7	アメリカ文学史② 独立期から西漸運動(ロマン主義の時代 i) ブラウン、アービング、クーパー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④ ヴィクトリア朝時代 i …ディケンズ、サッカレー、ブロンテ姉妹	
	8	アメリカ文学史③ 独立期から南北戦争まで(ロマン主義時代 ii) エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディキンソンなど	26	イギリス文学史⑤ ヴィクトリア朝時代 ii …エリオット、メーリス、ギヤスケルら	
	9	アメリカ文学史④ 南北戦争から第一次大戦まで。(リアリズム小説) オールcott、マークトウェイン、ハウエルズ、ジェームズなど	27	イギリス文学史⑥ ヴィクトリア朝時代 iii …テニスン、ブラウニングなど詩人連	
	10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴(文体・内容・時代背景)を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦ 第一次世界大戦とその周辺 i …ハーディ、ヘンリー・ジェームズ、コンラッド、キプリングなど多数	
	11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧ 第一次世界大戦とその周辺 ii …作家:H.G.ウェルズ、ステューブンソン、コナン・ドイル。詩人:ホプキンス、イェイツ	
	12	アメリカ文学史⑤ 第一次大戦と海外膨張政策(自然主義小説) ノリス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨ 第一次世界大戦とその周辺 iii …小説家:オズカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家:バーナード・ショーなど	
	13	ジャック・ロンドン To Build a Fire の読解	31	イギリス文学史⑩ 第二次世界大戦とその周辺 …戦争と歴史。作家:ヴァージニア・ウルフ、ジェームズ・ジョイスなど	
	14	アメリカ文学史⑥ モダニズムの時代…狂騒の20年代 i キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑪ 第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家:ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど	
	15	アメリカ文学史⑦ モダニズムの時代…狂騒の20年代 ii フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① "人種(Race)"	
	16	アメリカ文学史⑧ モダニズムの時代…ジャズ・エイジ iii フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② "社会階級(Social Class)"	
	17	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『ハックルベリーフィンの冒険』	35	文学研究の「テーマ」について③ "性差(Gender)"	
18	論文を読む。Theme, 先行研究, Thesis statementに着目する。 『ロミオとジュリエット』	36	文学研究の「テーマ」について④ "セクシュアリティ(Sexuality)"		
成績割合	テスト		学習FB方法	レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等	
	学習態度・出席率	50パーセント			
	レポート		成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体験型学習>>30				
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育(英米文学)課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。				

## シラバス

科目名	英語基礎 I		担当者名	鈴木良	
学科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。				
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Unit 1		19	Unit 8
	2	Unit 1		20	Unit 8
	3	Unit 1		21	Unit 8 小テスト、Unit 10
	4	Unit 1		22	Unit 10
	5	Unit 1		23	Unit 10
	6	Unit 4		24	Unit 10
	7	Unit 4		25	Unit 10 小テスト、Unit 12
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4		26	Unit 12
	9	Unit 4		27	Unit 12
	10	Unit 4		28	Unit 12
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6		29	Unit 12 小テスト、Unit 13
	12	Unit 6、レポート作成		30	Unit 13
	13	Unit 6、レポート作成		31	Unit 13
	14	Unit 6、レポート作成		32	Unit 13
	15	Unit 6		33	Unit 13 小テスト
	16	前期期末試験		34	まとめ
	17	Unit 8		35	後期期末試験
18	Unit 8		36	試験返却	
成績割合	テスト		45%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率		30%		
	レポート		25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得				

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式	
	2	授業オリエンテーション 履修科目のレポート課題提出について	20	俳諧の歴史	
	3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学	
	4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類	
	5	「国文学基礎講義」レポート課題概説 レポート作成に向けて	23	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成に向けて	
	6	『日本古典文学』第1章 古代(一記紀と風土記を読む)	24	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌」について。	
	7	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成	25	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成 「万葉集」以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定	
	8	『日本古典文学』第7章 近世(一近松と西鶴の文学を読む)	26	『万葉集』の「宴席歌」について	
	9	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成に向けて	27	「国文学講義」I(上代) 課題2 レポート作成に向けて	
	10	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から 田辺福麻呂の歌 巻18(4032~4035)	
	11	「国文学概論」レポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から 橘諸兄の歌 巻17(3926左)	
	12	『国文学概論』(第二分冊) 物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」 藤原朝臣仲麻呂の歌から 巻20(4242・4487)	
	13	「国文学概論」課題1 レポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から 巻17(3943~3955)の宴席歌群について	
	14	『国文学概論』(第四分冊) 近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から 大伴坂上郎女の歌 巻4(585・651・652)	
	15	「国文学概論」課題2 レポート作成	33	『万葉集』の宴席を考えるー梅花の宴を通して	
	16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の作成・提出に向けて	
	17	鴨長明と兼好 『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ／振り返り	
	18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ／振り返り	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%				
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)				

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位	2	開講期	通年	授業時間数	36コマ
開講学年	2年生	必・選	必修選択		
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・就活状況の確認	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒業ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒業ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒業ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	確認テスト・まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期 振り返り	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	卒業ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	キャリアセンター 井上・(宮鍋)	
学科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身につける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク ②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り	
	2	職業観の醸成(3名のレング職人)	20	社会人基礎力の確認	
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究 モチベーショングラフ 自分の価値観	
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは	
	5	社会探究の方法 ヒント	23	学生が企画する授業①	
	6	インターンシップの目的 期間と時間 活用 選び方 探し方	24	学生が企画する授業②	
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備	
	8	グローバルな働き方	26	図書館 感銘を受けた本ワーク	
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法	
	10	インターン対策 ルールマナー編&自己探究	28	自己PR 動画作成	
	11	インターン対策 面接編	29	オンライン面接の練習	
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習	
	13	インターン計画	31	Gワーク練習	
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方	
	15	自己探究 自分から見た強み 社会から見た強み	33	冬のインターン報告会	
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク		
成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	確認テスト(Forms)	30%			
	合計	100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>〃数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。</p> <p>国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。</p> <p>社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。”</p>				
授業概要	<p>〃数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。</p> <p>国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。</p> <p>社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。”</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	数学 中間テスト1回目	国語 語句の読みと意味
	2	オリエンテーション	20	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学
	3	オリエンテーション	21	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学
	4	国語 オリエンテーション 数学 百分率・歩合	22	数学 百分率・歩合・速度	国語 成績判定試験
	5	数学 速度	23	数学 単位・比例と比例式	国語 漢字の読み・諺 社会 民主主義
	6	数学 単位	24	数学 小テスト	国語 授業のみ 社会 日本国憲法
	7	数学 比と比例式	25	数学 倍数・約数	国語 漢字の読み・諺 社会 国際社会
	8	数学 倍数・約数	26	数学 因数分解	国語 慣用語・常用漢字外 社会 資本主義経済・企業
	9	数学 因数分解	27	数学 小テスト	国語 漢字一字の書き取り 社会 国民経済・日本の経済
	10	数学 一次方程式	28	数学 一次方程式・連立方程式	国語 二字熟語の書き取り 社会 貨幣・金融・財政
	11	数学 連立方程式	29	数学 二次方程式	国語 同訓異字の書き取り 社会 日本史(近世・近代・現代)
	12	数学 二次方程式	30	数学 小テスト	国語 同音異義語の書き取り 社会 世界史
	13	数学 図形の面積	31	数学 図形の面積	国語 同音異義語の書き取り 社会 日本地理
	14	数学 図形の体積	32	数学 図形の体積	国語 対義語・類義語の書き取り 社会 世界地理
	15	数学 一次関数	33	数学 小テスト	国語 似形異字の書き取り 社会 思想・社会・文化
	16	数学 二次関数	34	まとめ	
	17	数学 場合の数	35	まとめ	
	18	数学 確率	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	成績通知	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≧25% R≪実働実践型学習≧25% A≪主体的参加型学習≧25% G≪海外体感型学習≧25%				
講師プロフィール	<p>〃数学担当 最終学歴：岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。</p> <p>国語・社会担当 最終学歴：慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。”</p>				

## シラバス

科目名	特別講座2A 大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期			授業時間数
開講学年	2学年	必・選	選択	72時間	
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	講義	
	2	オリエンテーション	20	講義	
	3	講義	21	講義	
	4	講義	22	講義	
	5	講義	23	講義	
	6	講義	24	講義	
	7	講義	25	講義	
	8	講義	26	講義	
	9	講義	27	講義	
	10	講義	28	講義	
	11	講義	29	講義	
	12	講義	30	講義	
	13	講義	31	講義	
	14	講義	32	講義	
	15	講義	33	講義	
	16	講義	34	講義	
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ	
	18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ	
成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100 A80～89 B70～79 C60～69 D59以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。				

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1, 民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②	
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	原祥	
学科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選	選択		
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ(2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2	
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2	
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2	
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学: 母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	9	英語音声学: 語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	10	英語音声学: 語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1	
	11	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1	
	12	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2	
	13	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2	
	14	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュニケーションレポート課題	
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題	
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ	
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験	
18	前期期末試験	36	試験返却		
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	月本 直子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	選択	授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」	
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論 「敬語」	
	3	国文学史Ⅰ レポート作成	21	国語学概論 「日本語教育」	
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」	
	5	国文学史Ⅰ レポート作成	23	レポート作成	
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」	
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」	
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」	
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」	
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」	
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」	
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 『『新思潮』と大正期教養主義』	
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」	
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」	
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」	
	16	レポート作成に向けて	34	まとめ	
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ	
18	国語学概論 「意味」	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≧70% R≪実働実践型学習≧60% A≪主体的参加型学習≧80% G≪海外体感型学習≧20%				
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。				